

# 2014「げんべい」ビーチサンダルデザインコンテスト in 西宮阪急

—武庫川女子大学×げんべい商店 コラボレーション企画—

## 2014 “GENBEI” beach sandal design contest in Nishinomiya Hankyu

Mukogawa Women's University × Genbei store collaboration project

末弘由佳理 武庫川女子大学 講師  
池田 仁美 武庫川女子大学 非常勤講師

Yukari Suehiro Lecturer,  
Mukogawa Women's University  
Hitomi Ikeda Part-time Lecturer,  
Mukogawa Women's University

### 概要

神奈川県葉山町に位置するビーチサンダル専門店である有限会社ゲンベイ商店<sup>1)</sup>が主催する「ビーチサンダルコンテスト」に参加した報告である。

今回のコンテストは、「げんべい」と本学武庫川女子大学のコラボレーション企画である。コンテスト会場は西宮阪急（阪急百貨店）<sup>2)</sup>であり、西宮阪急「誕生祭」5周年『地域で子育て、みんなで子育て』のテーマの下、実施されたものである。学生は『家族愛』をテーマに、「げんべい」で2014年に販売されるビーチサンダルのデザインを行った。

本学短期大学部生活造形学科アパレルコース所属の50名がデザイン画を提出し、西宮阪急の来店者による投票の結果、上位3名の作品が商品化され、西宮阪急の子供服売場にて販売された。

### 1. 「げんべい」ビーチサンダルデザインコンテスト

#### 1-1 コンテストの総合コンセプト

「げんべい」は、コンテストの総合コンセプトを、「ビーチサンダルデザインコンテストを通じ、企業は社会に貢献していることを知ってもらい、世間にアピールすることで認知度を上げることができる。学生には企業との接点を持つことによって社会のルールを実践で経験させることができる。これは学生の間では得難い貴重な経験として自己鍛錬へと結びつき、一人の人間として成長することの糧となりえる。」と掲げ、これまでも複数の教育機関と連携してコンテストを行ってきた。

#### 1-2 コンテストのこれまでの実績

「げんべい」のこれまでのコンテスト実績を表1に示す。

表1 「げんべい」コンテスト実績

げんべい×関東学院大学×そごう指浜店×地元企業(2010-2012)	
参加企業	2010年: 横浜リョーカー、横浜マリノス 2011年: 横浜リョーカー、横浜マリノス、江ノ電、八景園シーパルタイス、味森川新橋 FM横浜 2012年: 横浜リョーカー、横浜マリノス、江ノ電、八景園シーパルタイス、味森川新橋 FM横浜、テレビ味森川
げんべい×福岡大学×東急ハンズ博多店×地元企業(2011)	
参加企業	福岡リョーカー、東豊堂、チョコレートショップ、コックソース、HAKATA、IAF24V
げんべい×公芬デザイナー×東急ハンズ梅田店×地元企業(2011)	
参加企業	関西リョーカー、オリックス・バファローズ、サントリー「ベフシNEX」、大阪、玉将、たこやきらぼ、東大阪市2013年サッカーワールドカップ観戦生
須磨海浜水族園×げんべい×キューマンアカデミー神戸校(2012)	

### 2. 2014「げんべい」ビーチサンダルデザインコンテスト

#### 2-1 参加依頼から商品販売までの流れ

(1) コンテストへの参加依頼 2013年2月に株式会社阪急阪神百貨店西宮阪急の子供服・文具販売部キッズファッションブランド・イベント担当者より本学に依頼があった。

(2) 打ち合わせ及びテーマ決定 2013年3月、内容に関する詳細説明があった。8月にはコンテストのテーマを『家族愛』とすることが通知され、デザイン画を提出するまでの詳細なスケジュールが決定した。

(3) デザイン画の作成 2013年11月、本学短期大学部生活造形学科アパレルコース1年で開講されている「ファッションコンピュータ実習」（担当：末弘・池田）の授業課題の1つとして、2014年夏物ビーチサンダルのデザイン画作成の指導を行った。

(4) デザイン画提出 同月、それぞれが自身のデザインした作品に対し、100字程度のデザインコンセプトを付記し、全50作品を西宮阪急に提出した。

(5) 西宮阪急でのコンテスト 2013年12月11日（水）～17日（火）の1週間、デザイン画50点が西宮阪急4階北エレベーター横イベントスペースで展示され、来店者による投票が実施された。

(6) コンテスト結果発表 2013年12月22日、西宮阪急から学院宛に投票結果の報告があった。総投票数は70票で、1位は11票、2位・3位は6票であった。上位3作品は商品化が決定した。来店者への結果発表は、後述のビーチサンダル販売と同時にを行った。

(7) 版下データの作成 商品化にあたり、ビーチサンダルにプリント可能な版下データの作成を行った。3サイズ共通で、白黒2色の版データにする必要があり、筆者が学生データの加工・調整を行った。

(8) ビーチサンダル販売 西宮阪急の集客イベントである「子育て文化祭」が、2014年3月15日（土）～16日（日）、上記コンテスト作品展示会場において開催された。子育てを応援する地域コミュニティや企業のイベントブースの一つとして、ビーチサンダルデザインコンテスト結果発表及び商品の販売が行われた。サイズはいずれも子供用で、価格は15cm, 17cm, 21cmの3種類が ¥1,500/足で販売された。なお、イベントブースにおける販売は一部であり、本格的な販売は、同年5月14日（火）～6月30日（月）の期間、4階子供服売場「キッズリゾートアイランド」内にて行われた。

キーワード：ビーチサンダル、デザイン、コンテスト、Illustrator

## 2-2 コンテストの告知媒体

西宮阪急により、以下3つの媒体でコンテストの実施及び結果が告知された。

### (1) コンテストの実施告知

- 西宮阪急HP<sup>2)</sup> (2013年12月11日 (水) ~17日 (火) )
- 西宮阪急店頭配布冊子「コトコトステージ」NEWS 2000部
- 新聞折り込みちらし20万部 (2013年12月11日 (火) )

また、本学では、学院HPのイベント欄<sup>3)</sup>、公式Twitter及び公式facebookページにおいてコンテストの様子が報告された。

### (2) コンテストの結果告知

- 西宮阪急HP<sup>4)</sup> (3月11日~3月16日)

また、本学では、2014年2月20日に学院HPニュース欄<sup>5)</sup>で上位3作品の入選者を発表し、西宮阪急での結果発表及び商品販売イベントの告知を行った。また、同年3月21日にイベントの様子が報告された。

## 3. 本学の授業との関わり

短期大学部生活造形学科アパレルコースでは、1年生の後期に「ファッションコンピュータ実習」を開講している。この科目ではAdobe社のCGソフトであるIllustrator及びPhotoshopを用いて授業を展開している。大学入学後にこれらのソフトを用いる初めての授業であり、基本操作の習得から始め、さらに基礎技術を応用してファッションマップの作成やCG技術を用いてのスタイル画作成を行っている。

今回取り組んだビーチサンダルデザインは、企業からIllust-

ratorでのdata作成ということが義務付けられており、授業の前半で身に付けたIllustratorの技術を活かしてデザイン画作成に取り組む形となった。また、デザインをするにあたり、いくつかの条件が設定された。「げんべい」及び西宮阪急からのデザイン条件は以下である。

### 《「げんべい」からの条件》

- ・鼻緒のカラーは既存の12色より1色を選択する
- ・台のカラーは既存の19色より1色を選択する
- ・ロゴ「げ」の文字を1箇所以上に挿入する (既存の50色100種より1色を選択する)
- ・イラスト及び文字デザインに使用できるカラーは1色とし、ロゴ「げ」と同色とする

### 《西宮阪急からの条件》

- ・デザインテーマは『家族愛』とする
- ・100字程度で各自コンセプトを記載する

図1は、デザイン画を作成するに当たり、筆者らが作成し、学生に提示したテンプレートである。学生はテンプレートの色見本を使用し、ビーチサンダルのデザインを完成させた。

## 4. コンテスト及び商品販売情景

### 4-1 コンテスト実施情景

図2・3はコンテスト実施の情景であり、図2の最右に示す画像は投票用紙である。投票は来店者が自由に行うことができ、50作品の中から1点を選び、デザインをした学生の氏名及び選んだ理由を記入し、投函BOXに投票する。なお、上位3作品に投票した来店者のうち、抽選で各1名にビーチサンダルがプレゼントされた。

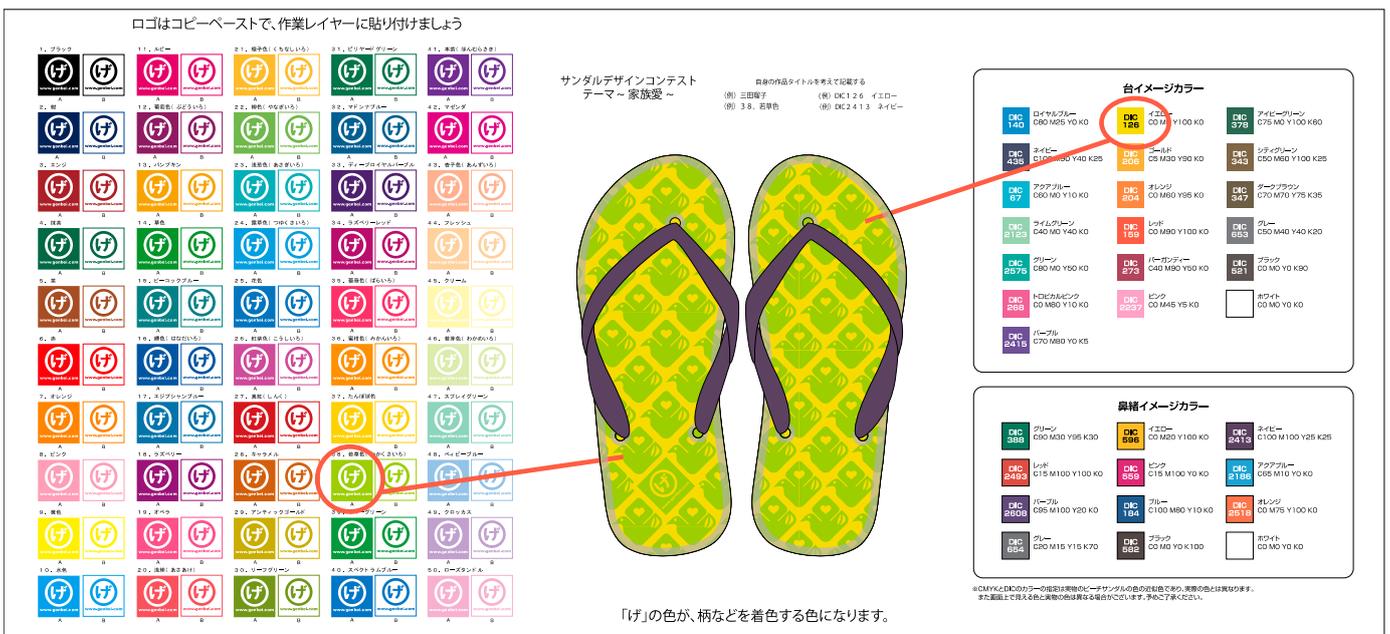


図1 ビーチサンダルデザインのテンプレート



図2 ビーチサンダルデザインコンテスト（於：西宮阪急4階）



図3 ビーチサンダルデザインコンテストに出品した全50作品（西宮阪急での展示を撮影）

#### 4-2 商品販売情景

ビーチサンダルコンテストの結果発表及び商品化されたビーチサンダルの販売ブースは、子供連れの客で賑わう会場に設けられた。図4は商品販売の情景写真である。販売ブースでは、生活環境学科・生活造形学科の学科紹介パネルと学科パンフレット、作品集、短大リーフレットも合わせて設置・配布した。ビーチサンダルは、サイズ別の切り込みの入った台シートに、3サイズ共通のデザインがプリントされ、鼻緒をつけてパッケージされている。

#### 4-3 商品化された作品（3点）

投票の結果、商品化された3作品について、1位は斉藤可奈子（短生1B）、2位は園部絵理（短生1A）、3位は中西春菜（短生1A）が選出された（学年は当時のもの）。2・3位は同票数であったため、西宮阪急の社内投票結果から順位が確定した。各作品のデザイン画およびコンセプトを図5に示す。



図4 ビーチサンダルコンテスト結果発表及び商品販売（於：西宮阪急）



1位 齊藤可奈子

ビーチサンダルのテーマが家族愛だったのでいるかの親子を描いてみました。鼻緒の色が緑なのは、植物を表しています。そして、うみねこの親子も描いて可愛くしました。



2位 園部絵理

家族愛がコンセプトということで小ささまざまな花で家族を表現しました。そして花のデザインは愛のある笑顔の絶えない明るい家族をイメージし、カラーは明るいイエローにしました。



3位 中西春菜

家族を流れ星に例えました。大きめの星が親、小さめの星を子供。という感じで表しました。色はお父さんでも、お母さんでも、男の子でも、女の子でも使えるようにベイビーブルーを選びました。またこの色は優しい夜空も表しています。

図5 商品化が決定した上位3作品のデザイン及びコンセプト

#### 4-4 商品化された作品の投票理由

来店者が投票用紙に記入した投票理由は次のとおりである。

1位・・・絵がきれいでも話的、2足揃えるとイルカの親子が現れる所、子供(男の子)に履かせてみたいデザイン、他

2位・・・色彩が太陽のように輝いてキャラクターがそれにも負けないくらいハッピーさが伝わる、履いているだけで元気が出そうな黄色のサンダル、他

3位・・・左右色違いがおしゃれ、流れ星だけのデザインがシンプルで好き、他

いずれも、投票者がデザインの好みだけではなく、実際にビーチサンダルを着用するシーンを思い浮かべて投票したことが示唆される内容である。

#### 5. むすび

課題への取り組み姿勢について、学生自身がデザインしたものが百貨店に展示されること、商品化の可能性があることなどから学生のモチベーションが高かったように感じる。デザインする上で企業側が示す条件がいくつかあったが、それらを理解し、デザインを展開、ソフトを使いこなすことなど、学生にとって多くの学びがあったと感じる。また、実践的な課題内容によって、より高い教育的効果がもたらされたことが示唆される。

また、今回のコンテストでは、デザインの現場と離れた一般の来店者が、作品を評価する際にどこに着目しているのかを伺い知る手がかりを得ることが出来た。出品作品の中には、Illustratorの技術を駆使し、技工を凝らした作品もあったが、来店者はIllustratorの技術面にとらわれず、完成したデザインだけを見て純粋に良いと評価した。その視点は、ともすれば技術面だけに着目して評価してしまいがちな指導者に、新たな課題評価基準の追加を検討させるものであった。

#### 謝辞

本コンテストに応募したデザイン画は、2013年度後期開講の「ファッションコンピュータ実習」の課題の1つとして取り組んだ。授業担当助手としてご尽力頂きました本学科助手の本田クミさん、大西かおりさん、川戸みなみさんに深謝致します。

#### 注及び参考文献

1)ビーチサンダル 葉山げんべい, <http://www.genbei.com/index.html>  
有限会社ゲンベイ商店は、ビーチサンダル専門店である「げんべい商店」を運営しており、「げんべい」をブランド名としてビーチサンダルを販売している。

本稿では、有限会社ゲンベイ商店及びげんべい商店について「げんべい」と総称して表記する。

2)西宮阪急,

<http://www.hankyu-dept.co.jp/nishinomiyai/1> (2013/12/11)

3)武庫川学院HP イベント欄,

[http://www.dignet.jp/~koho\\_r11/topics\\_news\\_monthly\\_12.html#t1386741165](http://www.dignet.jp/~koho_r11/topics_news_monthly_12.html#t1386741165)

4)西宮阪急,子育て文化祭,

<http://www.hankyu-dept.co.jp/nishinomiyai/kosodatebunkasai/index.html>(2013/03/19)

5)武庫川学院HP ニュース欄,

[http://www.dignet.jp/~koho\\_r11/topics\\_news\\_monthly\\_02.html#t1386741165](http://www.dignet.jp/~koho_r11/topics_news_monthly_02.html#t1386741165)(2013/02/20)

※本文中の写真は全て筆者が撮影したものである。